

## いきいきプロジェクトについて

高齢化の進展に伴い、社会は大きく変化しはじめています。高齢者の健康や介護、住まいなど、高齢者自身に関わる課題に加え、経済活動における顧客層の変化や働き手の不足など、様々な場面で高齢化の影響は現れます。

これらは、全ての人にとって身近な課題となり得るものであり、高齢者だけでなく、全ての世代の人が自分ごととして捉えていくことが重要です。また、高齢者をとりまく地域住民や地域で活動する団体、民間事業者などが、課題に向けた取組をそれぞれの立場で、できることから始めることが「高齢になっても安心して暮らし続けられる地域づくり」につながるものと考えています。

「(仮称)いきいき長寿プラン 24-26」では、市が行っている取組のうち、幅広い世代や立場の方が関心を持ち、また、関わることにより、これまで以上の効果を生み出すことができるものを「いきいきプロジェクト」として位置付けました。

本プロジェクトでは、「介護予防・フレイル予防」「認知症」「介護人材」の3つのテーマを設定し、これらを市全体で一丸となって取り組めるよう推進します。

### 3つのいきいきプロジェクト

#### ①「社会参加」で介護予防・フレイル予防

高齢者の皆様が、身近な場所で、自分に合った集まりや活動に参加し、介護予防・フレイル予防に取り組めるよう、様々な環境づくりを進めていきます。

#### ②認知症とともに生きるまちづくり

地域住民をはじめ、多種多様な分野の団体等とまちづくりの指標である16のまちだアイ・ステートメントの理念を共有し、連携・協力して「認知症とともに生きるまちづくり」に向けた取組を推進していきます。

#### ③あつまる・つながる まちだの介護人材

高齢化に伴い介護サービス需要が増加しても必要な介護サービスが受けられるよう、介護サービスを支える介護人材の確保・育成・定着について取り組んでいきます。